

公表:令和 3年 3月 29日

総数:19名
(100%)

事業所名:(福)上田明照会 蓮の音こども園

チェック項目		はい	いいえ	NA	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15	4	0	・人数により仕切りなどを使い動きやすい空間になるよう設定している。 また、グループ活動を取り入れ、空いているスペースを園全体で調整し活用できるようにしている。	・園内の環境を最大限に活用し、クラス内や他クラスとの調整に努め、子どもたちが心地よく安心して活動できるようにしていきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	15	4	0	・当日の出席や個別状況に応じて、職員配置を調整し、安全に支援ができるようにしている。	・法令で定められている配置数は満たしています。 ・個別対応が必要な時には、職員間で調整し対応できるようにしていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	10	0	・個別に応じた視覚支援や生活空間の場所をマークで示し、生活しやすいように工夫している。 ・子どもたちの階段の移動には十分配慮している。	・園内のバリアフリー化と共に設備は整っているが、更に職員の危険予知を高め安全に生活できるよう配慮していきます。 ・子どもの特性に応じた、生活のしやすさについて、子どもが理解して動ける環境作りに努めます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	0	0	・従来環境整備、衛生管理を行いながら、新型コロナウイルス感染症対策については、社会状況や情報収集を行い職員、保護者に発信し、情報共有ができるようにしてきた。 ・「新しい生活様式」の中で、子どもたちの生活のしやすさと、感染防止の観点から活動を組み立ててきた。	・引き続き、手洗い、手指消毒、物品や室内の清拭など感染対策に努め、子どもたちへの意識づけと共に、安心・安全な生活ができるよう努めていきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	19	0	0	・目標と支援方法、評価の振り返り等、定期的に行い共有している。日常的な振り返りと共に、必要に応じて園全体で共有している。	・定期的な職員会議の開催や、リーダー会議などを行い、情報の共有や業務の検証を重ねていきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	19	0	0	・保護者の思いを聴取し、改善すべき点については管理者を含め協議検討している。	・保護者向け評価を実施し、集計しました。その内容に基づき、課題を抽出し、業務改善に努めています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	19	0	0	・評価結果の公表と、結果を踏まえた改善目標の共有に努めている。	・法人ホームページ上に掲載します。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	15	0	・H17年度以降、受審していないが、自己評価の結果から課題の取り組みを行っている。	・受審に向けて準備を進めていきます。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修の情報を収集することで、幅広く職員が参加しやすくなった。 ・感染対策を行い、法人内では少人数や時間短縮、事業所単位により研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修など積極的に参加しながら職員間で情報共有します。 ・年間計画に基づき研修を企画し、支援の質の向上に努めます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成のための会議を開催し、児童発達支援管理責任者を中心にチームで目標を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月に1度個別支援計画を作成します。定期的にアセスメントを行い、ニーズ・課題を把握した上で、個々の発達に即した計画作成に努めます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・遠城寺式乳幼児分析的発達検査を導入している。 ・必要に応じてストラテジーシートや感覚からのアセスメントシートを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に応じたアセスメントツールを使用し、客観的な子どもの発達評価を行います。効果的な支援方法を職員間で共有していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを基に計画の作成に努めている。 ・発達支援・家族支援・地域支援のそれぞれの項目から必要な目標を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを理解し、具体的な支援を組み立てていきます。 ・計画書の内容についても、ご家族が読みやすく、分かりやすい内容で立案し、丁寧に説明していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に基づき、月目標を設定。所見を通して家庭と共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの評価を速やかに行い、分かりやすい内容でご家庭と共有できるように取り組んでいきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	17	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員が中心となり立案しているが、クラス会議においても幅広い意見が取り入れられるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス職員や園全体で調整しながら、計画的に立案できるよう努めています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・目的のある継続したプログラムは、年間通して子どもたちの自信や成長に繋がっている。 ・グループ分けにより活動しやすく工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味関心に応じた内容を工夫し、新たなプログラムの立案を検討していきます。また、繰り返し行うことの意義を大切に捉えています。 ・感染症対策を行い、新しい生活様式を取り入れながら、創意工夫に努めます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に記載し、個別に必要な支援の見極めを行い、集団活動への参加ができるよう作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・集団を明記し、個々の様子やクラス全体の調整を図りながら柔軟に対応していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・開始前、スケジュールや役割の確認を行っている。不在の職員には速やかに伝達している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担を確認しながら、適宜柔軟に対応していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その日のうちに振り返りができるように時間を工夫し、良かった点や改善点の共有に努めている。職員会議やクラス会議等、継続的に確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善に努力してきた項目です。今後も職員間の幅広い意見を徴収し、支援に生かせるよう努めます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日記録を取り、振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人共通のソフトを使用し、ケース記録の質の向上に努めます。支援の方向性や検証、改善のために更に活用していきます。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングで把握された改善点は、今後も適正に対応させていきます。 	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	19	0	0	・管理者・児童発達支援管理責任者を中心に会議に参加し、関係機関との連携を図り職員への周知に努めている。	・会議の内容により、参加者の選任を行い、効果的な会議になるよう努めていきます。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	19	0	0	・市町村の保健師等が来訪し、子どもの様子の確認等を行い、地域との関係を維持している。	・状況の判断により、連携すべき関係者と適宜関わり、家族の安心・安全な生活が実現するよう努めていきます。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	19	0	0	・定期的な支援会議を開催し、状況の確認を行っている。 ・医師の指示書、看護サマリーを元に対応している。	・相談支援専門員が中心となって招集された会議で、関係各機関との情報の共有に努め、地域生活が安全に送れるよう努めます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	19	0	0	・看護師と連携しながら、連絡体制を整えている。	・入園前より、病院からの情報提供を受け、医師の指示により、受入れ体制の確保と支援内容について検討してまいります。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	19	0	0	・移行支援会議の開催。 ・保護者の了解を得て情報提供をしている。	・移行準備として、様々な体験の機会を確保し、新しい環境への適応が図れるよう準備します。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	19	0	0	・情報提供書の作成及び、移行支援会議で内容の確認を行っている。	・体験や移行支援会議をもちながらスムーズな移行が出来るよう努めます。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	19	0	0	・管理者・児童発達支援管理責任者を中心に連携し、情報共有している。	・各種必要な研修等に参加し、支援の質の向上に努めます。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19	0	0	・隣接する保育園との日常的な関わりがある。	・日常的な自由交流を行ってまいります。 ・個々の状況により、地域での交流の機会や、段階的に隣接保育園との交流が深められるように検討してまいります。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	19	0	0	・管理者・児童発達支援管理責任者を中心に参加している。	・社会状況の変化に対応できるよう、関係機関との連携に努めていきます。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	19	0	0	・送迎時を中心に保護者との情報共有に努め、必要に応じて面談を設定している。 ・日々の様子は連絡帳に丁寧に記録するようにしている。 ・月ごとの所見を共有し課題の取り組みを確認している。	・定期的面談や適宜面談の機会を設け、共有をできるよう努めます。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	12	7	0	・保護者向け学習会や懇談会等で、関わり方の情報など伝えられるようにしている。	・ペアレントトレーニングを園内でも行えるよう、準備してまいります。
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	19	0	0	・入園前、個別に時間を設け、説明の機会を作っている。	・契約時には、分かりやすく丁寧な説明を心がけます。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	19	0	0	・6ヶ月に1度(新規利用児は中間評価も行う)作成する個別支援計画については、その都度個別面談を行い、説明している。	・今後も丁寧な説明を行い、ご家族の同意のもと支援を提供してまいります。
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	19	0	0	・担任レベルで解決が難しい事例については、管理者等も交えて対応している。 ・必要に応じて個別面談を行っている。	・子どもの日々の様子を観察し、保護者の思いに寄り添う支援を行います。随時、相談ができる体制を整えます。

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	19	0	0	・保護者会主催の会はあるが、今年度は、感染症の感染状況を見ながら開催の実施を調整してきた。人数制限や、感染対策を講じて開催できるようにした。	・保護者同士の連携が図れるよう協力していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	0	0	・日頃のやり取りで、連絡帳に相談内容が記載される事も多い。速やかに、適切な対応ができるよう心がけている。	・今後も迅速丁寧な対応に努めていきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	19	0	0	・クラスだよりを通じて、日頃の支援内容の目的等も踏まえ発信している。適宜、園からのお便りやオクレンジャーのシステムを活用し伝達している。	・連絡事項等、早めにお便りを発信できるように努めます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	19	0	0	・個人情報の取り扱いには留意している。	・今後も職員教育を強化し、情報管理について適切に対処できるよう努めます。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	19	0	0	・個々に応じた視覚支援を用いて対応している。 ・家庭からの発信に対しては速やかな対応を心がけ、適宜、園長、主任を含めて対応している。	・職員間で共有確認しながら丁寧な対応を継続します。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	13	1	・定期的な活動にボランティアの協力を得ている。	・より開かれた事業所であるよう、地域交流を進めていきます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	3	0	・一部、運営計画に記載し、各家庭に配布している。 ・防犯訓練、感染症予防等定期的に見直しを行っている。	・各種マニュアルの開示方法については検討していきます。 ・緊急時の対応については、オクレンジャーを活用しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	19	0	0	・火災・地震・風水被害等、様々な非常事態に備え訓練を行っている。	・月に1回の訓練を行い、その都度振り返りを行い、非常事態に備えていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	19	0	0	・健康カードの提出や、適宜、看護師の面談を行っている。	・看護師を中心に個々の健康状態を把握し、安全に園生活が送れるよう服薬管理を含め対応していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	19	0	0	・診断書の提出により職員間で情報を共有し、手順に従って、安全に食事の提供をしている。	・管理栄養士・看護師と情報共有し除去食品の把握をし、代替食を提供するなど、安全管理に努めます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	19	0	0	・報告書を元に検証を行っている。	・全職員で共有し、防止に努めていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	19	0	0	・定期的な研修に参加し、支援の振り返りを行っている。	・法人内に虐待防止委員会を設置し、研修の機会を確保しています。 ・必要な関係機関と連携し、研修を重ねていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	11	1	・身体拘束の範囲の理解が曖昧であり、認識に格差があるため、現状に即した情報共有を適宜図っている。	・身体拘束の規定に該当する支援は行っていないが、個別対応として明記し、子どもや保護者への説明・計画書への反映に努めていきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。